オートバイ用Bluetoothレシーバー

Bluetooth

VZ-7200

取扱説明書

この度は「VZ-7200 オートバイ用 Bluetooth レシーバー」をご購入いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、製品を正しく安全にご使用頂く為の取付け及び操作手順が記載されております。本書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は常にお手元に保管くださいますようお願い申し上げます。

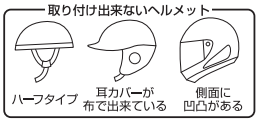
適合

1. スピーカーの形状により、フルフェイス型およびジェット型ヘルメットであること。

注意

●オワン型(ハーフ)タイプなどには使用できません。ヘルメットの左側面に、本機を取り付けるスペースがあるか確認してください。

●強力なテープを使用しますので、再塗装やステッカー部は剥離する可能性があります。



2. ヘルメットのイヤーホール部（耳部）に右記のスペースがあること(右図)

3. 下記 Bluetooth 仕様に合う送信側機器であること

本機 Bluetooth 仕様

●規格	Var.2.1+EDR
●使用周波数帯	2.4GHz 帯
●出力	Class2
●対応プロファイル	HSP ／ A2DP
● PIN コード	『0000』

※全ての Bluetooth 機器との組合せで動作を保証するものではありません。接続する相手機器の仕様により、正しく動作しない場合があります。

注意

●本機にはマイクはありませんので、会話をする事はできません。また、携帯電話などの通話もできません。

目　次

1. **本機の特長** ―― 3
2. **ご使用上の注意** ―― 4〜5
3. **梱包内容** ―― 6
4. **各部の名称** ―― 7
5. **Bluetoothとは** ―― 8〜10
   - 1 Bluetoothの概要 ―― 8
   - 2 Bluetoothについての注意 ―― 8
   - 3 Bluetoothの用語 ―― 8〜10
     - 1）『ペアリング』とは ―― 8〜9
     - 2）『プロファイル』とは ―― 9
     - 3）『PINコード』とは ―― 9〜10
     - 4）『クラス』とは ―― 10
6. **ペアリングを行う** ―― 11〜14
   - 1 適合の確認 ―― 11
   - 2 電池を入れる／電池交換 ―― 11〜12
   - 3 チャンネル／プロファイルの確認 ―― 12
   - 4 ペアリングの手順 ―― 12〜14
     - 1）チャンネル1（HSP）のペアリング ―― 12〜13
     - 2）チャンネル2（A2DP）のペアリング ―― 13〜14
7. **ヘルメットへの取り付け方法** ―― 15〜16
8. **使用方法** ―― 17〜19
   - 1 電源を入れる ―― 17
   - 2 ボリュームの調整 ―― 17〜18
   - 3 通信について ―― 18
   - 4 再接続について ―― 18〜19
   - 5 電源を切る ―― 19
9. **故障かな？と思ったら** ―― 20〜21
10. **補修パーツのご紹介** ―― 22
11. **製品仕様** ―― 22
12. **本製品に関するお問い合わせ、ご相談先** ―― 22

1.本機の特長

●ナビゲーションや音楽プレーヤーなどオートバイ用Bluetooth機器の受信に特化した、使いやすいBluetoothレシーバーです。

●突然の雨にも慌てない防雨設計。（IPX6相当）

●ヘルメットのフォルムを崩しにくく、空気抵抗にも考慮したコンパクトな設計。

●電源は突然の電池切れでも入手しやすく、交換も簡単な単三アルカリ乾電池仕様。

●連続使用時間は約10〜12時間。長時間の使用も考慮した省電力仕様です。

●2チャンネル　HSP／A2DP
※HSPはマルチポイント対応、HSP機器を同時に2台使用できます。

●ヘルメットへの取り付けは、強力デュアルロックを使用。

●超薄型、超小型スピーカーの採用。フルフェイス型ヘルメットでも納まりやすいタイプです。

●本機は片側スピーカー仕様の為、モノラル出力です。送信機側がステレオ対応機でもモノラルで出力されます。

●弊社のオートバイ用レーダー探知機VZ-7100と接続する事により、クリアで快適な警告通信を可能にしています。

●VZ-7100　オートバイ用レーダー探知機本体
価格 オープン（レーダー探知機のみ）

⚠ 注 意

本機にはマイクがありませんので、会話をする事はできません。

2.ご使用上の注意

ご使用の前にこの「ご使用上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。注意事項には、誤った取扱いにより生じる事が予想される危害や損害の大きさにより、「警告」「注意」で区別して表示しています。

⚠ 警告	この表示の内容を守らないと、死亡や大ケガなどの人身事故の原因となります。また、法律に抵触する可能性があります。
⚠ 注意	この表示の内容を守らないと、ケガや車両、製品に損害を与える恐れがあります。

⚠ 警 告

●本製品を分解、加工、改造などを行わないで下さい。火災、感電、故障などの原因となる場合があります。本製品は電波法による小電力データ通信システムとしての認証を受けている無線機ですので、分解、加工、改造は電波法違反として処罰の対象となる場合があります。また、保証期間内でも保証対象外となるばかりでなく、修理等をお断りする場合があります。

●ヘルメットの帽体を削る等、安全を損なう可能性のある取り付けはお止めください。

●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。重大な交通事故の原因となる場合があります。

●本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、二輪車の機能（エアバッグやメーター等）の妨げにならないように取り付けてください。事故やケガの原因になる場合があります。

●ヘルメットの縁などで配線を挟み込まないようにしてください。ショートや漏電等があると製品の破損、火災等を起こす可能性があります。

●本製品が万一破損、故障した場合はすぐにご使用を中止してください。そのままご使用になると火災、感電等の可能性があります。

●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

●この製品はオートバイ乗車中に使用する事を前提に設計されてい

2.ご使用上の注意

⚠ 警 告（つづき）

ます。その他の目的で使用しないでください。特に航空機内でのご使用や、心臓ペースメーカー近くでのご使用は電波の影響が深刻ですのでお止めください。

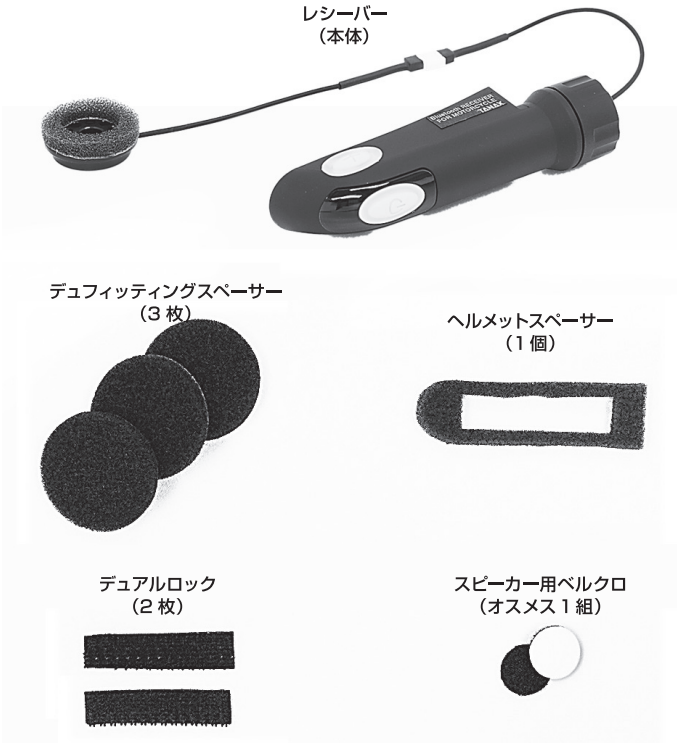
⚠ 注 意

- ●本製品は防雨設計となっておりますが、洗車機等で故意に水を掛ける事や雨中での長時間のご使用を避けてください。
- ●本製品は電池キャップを正しく閉めた状態で初めて防雨効果を発揮します。走行前は必ず電池キャップが閉まっている事を確認してください。また、濡れた状態での電池交換はお止めください。
- ●本製品は電子部品を使用した精密機器ですので、落下等の強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ●本製品は日本国内での使用に限ります。海外での使用及び輸出はできません。
  This product is limited to use only in JAPAN. Use in foreign countries and export are not possible.
- ●本製品の使用及び外観は、改良の為予告無く変更する場合があります。ご了承ください。

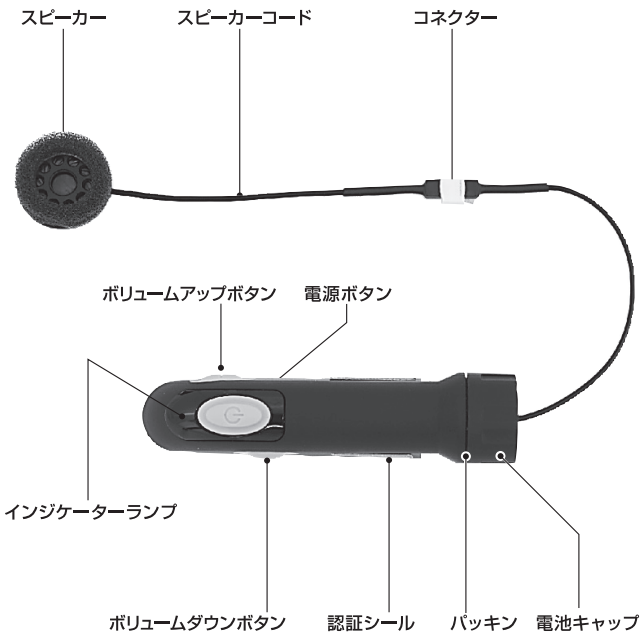
保証について

- ●本製品にはお買い上げの日から一年間の製品保証が付いています。（ただし乾電池、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）保証書（化粧箱側面）およびレシートは保証を受ける際に必要となりますので、必ずお手元に保管頂きますようお願い申し上げます。（保証書をご使用になる場合は、切り離してご使用ください。）
- ●製品保証は本製品に対してのみ対象となります。着脱や検査、修理等に発生した工賃・代車費用等は補償しかねます。あらかじめご了承ください。
- ●本製品の故障等による代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

3.梱包内容



4.各部の名称



5.Bluetoothとは

1 Bluetoothの概要

Bluetoothとは、2.4GHz帯の電波を使用した近距離デジタル無線通信規格です。パソコンや周辺機器、携帯電話、家電や医療機器など様々な分野でのデータ通信に利用されています。Bluetoothを利用する事により、クリアで混信が少ないワイヤレス通信が可能です。本機はBluetoothを使用して各種音声案内をライダーに発信する機器（ナビゲーションなど）を対象とした、Bluetooth受信専用機です。

2 Bluetoothについての注意

本製品はBluetoothを利用する事により、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備の認証を受けています。この為、本製品をご使用頂く上では無線に関する免許は不要です。
ただし、下記の行為は電波法違反等として処罰の対象となる場合があります。

- ● 本製品を分解、加工、改造等をする事
- ● 本製品に貼り付けられている証明ラベルを剥がす事
- ● 日本国外への持ち出し、および使用する事（各国で法律、規定、認証制度等が異なります。）

また、本製品が使用している2.4GHz帯の電波はBluetooth以外に電子レンジなどの家電や産業機器、科学機器、医療機器、無線LANやアマチュア無線なども使用しています。これら機器への誤作動や電波干渉を防ぐ為、下記注意事項をお守りください。

- ● 近くでこれら機器が使用されていない事を確認してください。
- ● 万一これら機器と電波干渉があった場合は、速やかに使用場所を変えるか、または本製品の使用を中止してください。（電波の発射を中止）

3 Bluetoothの用語

1）『ペアリング』とは

Bluetooth機器は、接続しようとする機器同士をあらかじめ登録する必要があります。この登録をペアリングと呼びます。

5.Bluetoothとは

一度ペアリングをすれば次回からは電源を入れるだけで使用できますが、以下の場合は再びペアリングを行う必要があります。
- 修理をした場合など、ペアリング情報が消去された時
- 本機を別のBluetooth機器とペアリングをする場合
- 一度ペアリングした機器が、ペアリング情報を消去した場合
- 一度ペアリングした機器が別の機器とペアリングして、再び接続したい場合

また、ペアリングを行った機器以外は通信できません。したがって、ペアリングした以外の機器へ通信内容を知られる心配がありません。

2)『プロファイル』とは

Bluetooth機器には、その機器の種類によって規定があり、これをプロファイルと呼びます。

例）HSP……携帯電話やパソコン等とイヤホンマイク等に使われる、音声の通信を行うプロファイル

A2DP…音楽プレーヤー等とヘッドホン等に使われる、音楽データの通信を行うプロファイル

Bluetoothを使用する為には、ペアリングする機器同士が同じプロファイルを持っている必要があります。また、そのプロファイルの機能しか使用できません。

本製品のプロファイルは、

チャンネル1ーHSP（優先）　チャンネル2ーADP

になっています。

3)『PINコード』とは

Bluetooth機器では、ペアリングをする際にお互いが暗証番号を入力する必要があります。この番号をPINコードと呼びます。（PINコードはパスキー、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれることがあります。）

このPINコードが合わないと、同じプロファイルを持っていてもペアリングができません。

携帯電話のように番号ボタンと液晶が有る機器は任意で入力できますが、本製品のような機器の場合は入力ができません。その為、その機種固有の番号があらかじめ登録されていて、ペアリング時に自動的にPINコードを入力します。

本製品の場合、PINコードは『0000』（ゼロが4つ）になっています。ペアリングを行おうとしている機器のPINコードをあらかじめご確認頂き、同じPINコードである事を確認してください。

4)『クラス』とは

Bluetoothには、電波の出力の大きさを規定して、クラス1～3に分かれています。それぞれ通信ができる範囲が異なります。

クラス	電波強度	通信距離
Class1	100mW	約100m
Class2	2.5mW	約10m
Class3	1mW	約1m

ただし、異なるクラスの機器同士を接続した場合、下のクラスの範囲までしか通信できません。

例）Class1とClass2を接続した場合…Class2の範囲（約10m）まで
Class1とClass3を接続した場合…Class3の範囲（約1m）まで
Class2とClass3を接続した場合…Class3の範囲（約1m）まで

本製品はClass2ですので、通信可能な範囲は約10mです。
※通信範囲は基準値です。周囲の電波状況や障害物の有無などにより変化する場合があります。

6.ペアリングを行う

1 適合の確認

適合条件

- ●プロファイル：HSP、A2DP
  - ※本機A2DPはAVRCP（音楽プレーヤーのリモートコントロールをするプロファイル）に対応しておりませんので、曲の早送り／巻き戻し、選曲などはできません。
- ●PINコード：0000（ゼロが4つ）
  - ※PINコードはパスキー、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれることがあります。
- ●本機にはマイクはありませんので、会話をする事はできません。また、携帯電話などの通話もできません。

※全てのBluetooth機器との組合せで動作を保証するものではありません。接続する相手機器の仕様により、正しく動作しない場合があります。

2 電池を入れる／電池交換

本製品は電源に単三アルカリ乾電池を使用します。電池残量が少なくなった時は、早めに交換してください。（8.使用方法の項目を参照）また、お買い上げ頂いた際は電池が入っていませんので、最初に付属電池を入れてください。

①本製品後側の電池キャップを左に回してキャップを外してください。この時、キャップと本体の間にあるパッキンを無くさないでください。

②単三アルカリ乾電池を⊕⊖を正しく入れてください。

③パッキンを取り付け、電池キャップを右に回して取り付けて下さい。

④電源が入る事を確認して下さい。

6.ペアリングを行う

⚠ 注 意

- ●パッキンを正しく取り付けてください。パッキンが外れていたり捩れていたりすると、浸水等の原因となります。
- ●電池キャップをきちんと閉めきってください。閉まり具合が緩いと、浸水やキャップの脱落等の原因となります。
- ●パッキンには定期的にグリス等を塗布してください。
- ●販売時に同梱している電池は作動確認用です。規定時間まで使用できない場合があります。
- ●本機は単三アルカリ乾電池専用です。充電式やマンガン電池などを使用すると正常に使えない恐れがあります。

3 チャンネル／プロファイルの確認

本製品は通信チャンネルが2つあります。

チャンネル1…HSP用（ナビゲーション音声案内、弊社レーダー探知機VZ-7100の警告などの受信）

チャンネル2…A2DP用（音楽プレーヤー等の音楽再生など）

どちらのチャンネルにペアリングするかは、送信側機器のプロファイルをご確認ください。（同じプロファイル同士でないとペアリングできません。）

※本製品はチャンネル1側が最優先に設定されています。
例）チャンネル1にナビゲーションの音声案内、チャンネル2で音楽を聴いている時はナビの音声案内が聞こえます。案内が終ると音楽が聞こえます。

※チャンネル1はHSP発信側機器を2台同時に接続することができます。3台目以降はペアリング時期が古い物から消去されます。（同時に使用できる台数は、HSP機器2台、A2DP機器1台の合計3台になります。）

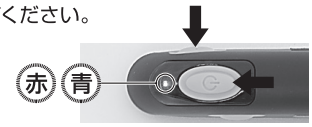
6.ペアリングを行う

4 ペアリングの手順

1) チャンネル1 (HSP) のペアリング

①近くで他のBluetooth機器が使用されていない事を確認して下さい。

②本機の電源が入っていない状態で、電源ボタンとボリュームアップボタンを同時に長押ししてください。約5秒後にインジケーターランプが赤と青が1回ずつ交互に点滅したら、両ボタンを離してください。



③送信側機器をペアリングモードにして、本機の近くに置いて下さい。(約1m以内)
※送信機側の取扱説明書を参考に操作してください。

④ペアリングが正しく完了したら、インジケーターランプが5秒間隔の青点滅になります。送信側機器と正しく接続されているか確認してください。(音声案内を受信するなど)
5分経ってもペアリングが完了しなかった場合は、ペアリングモードは終了し、インジケーターランプは5秒間隔の赤点滅になります。改めてペアリングしてください。

⑤2つ目のHSP機器をペアリングする際は、一度電源を切ってから改めて操作してください。

2) チャンネル2 (A2DP) のペアリング

①近くで他のBluetooth機器が使用されていない事を確認して下さい。

②本機の電源が入っていない状態で、電源ボタンとボリュームダウンボタンを同時に長押ししてください。約5秒後にインジケーターランプが赤と青で2回ずつ点滅したら、両ボタンを離してください。

6.ペアリングを行う

③送信側機器をペアリングモードにして、本機の近くに置いて下さい。(約1m以内)
※送信機側の取扱説明書を参考に操作してください。

④ペアリングが正しく完了したら、インジケーターランプが5秒間隔の青点滅になります。送信側機器と正しく接続されているか確認してください。(音楽を再生するなど)

5分経ってもペアリングが完了しなかった場合は、ペアリングモードは終了し、インジケーターランプは5秒間隔の赤点滅になります。改めてペアリングしてください。

⚠ 注 意

- **本機はモノラル出力です。送信機側がステレオ出力機でもモノラルにて出力されます。**
- **本機の出力クラスはクラス2 (約10m) です。送信機側がクラス1 (約100m) でもクラス2の範囲外では接続できません。(通信が切れます。)**
- **送信機側でPINコードの入力を求められる場合があります。その場合は「0000」を入力してください。**

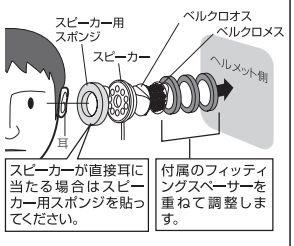
7.ヘルメットへの取り付け方法

①スピーカーコードの途中にあるコネクターを外し、取り付けするヘルメットのイヤーホール部 (耳部) にスピーカーが入るか確認してください。

②スピーカー中心と耳の中心が合うように位置を決め、ベルクロテープで固定してください。
スピーカー背面にベルクロのオス側 (裏面が硬い方) を貼り、ヘルメット側にメスを貼ります。

参 考

- ヘルメットの種類や耳の形状などにより、スピーカーと耳の間が広く開く場合があります。その際はヘルメットとスピーカーの間にフィッティングスペーサーを入れて調節してください。
- ヘルメットの種類や耳の形状などによりスピーカーと耳が当たる事があります。その際はスピーカーの出力面にスピーカー用スポンジを貼り付けてください。



③スピーカーのコネクターを取り付け、本体をヘルメットの外側に回してください。

⚠ 注 意

- **防水の為、コネクターを内装の隙間に隠してください。**

7.ヘルメットへの取り付け方法

④帽体に本体を当てて取り付け位置を決め、その部分にデュアルロックを貼り付けてください。
走行中の風切り音が気になる場合は付属のヘルメットスペーサーを貼ってください。

⚠ 注 意

- **貼り付け位置の汚れや油分を落としてください。**

⑤デュアルロック同士をしっかり噛み合わせてください。しっかり噛み合うとパチンと音がします。

⑥本体を取り外す時は、上から下にめくるようにデュアルロックを外してください。

⚠ 注 意

- **デュアルロックの粘着剤は、貼り付け後24時間で安定します。安定するまでは負荷を与えないでください。**
- **走行中の落下を防ぐ為、走行前に必ずデュアルロック同士の噛み合いを確認してください。**
- **デュアルロックは消耗品です。噛み合いが弱くなったら早めに交換してください。**

8.使用方法

1 電源を入れる

①電源スイッチを1回押してください。インジケーターランプが点灯します。同時にスピーカーから確認メロディーが流れます。

②電源を入れる時のインジケーターランプの点滅パターンで電池残量が確認できます。

●青ランプが点灯し、約2秒後に消える ➡ 電池残量は充分です。
●青ランプ→赤ランプの順で点灯し、約2秒後に消える
➡ 残量が少なくなってきています。
●赤ランプが点灯し、約2秒後に消える
➡ 電池残量がありません。交換してください。

③その後インジケーターランプは5秒間の点滅になります。

●青ランプの点滅 ➡ 接続中
●赤ランプの点滅 ➡ 未接続

2 ボリュームの調整（15段階）

①音量を上げたい時は、ボリュームアップボタンを押してください。
②音量を下げたい時は、ボリュームダウンボタンを押してください。

8.使用方法

⚠ 警 告

●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。重大な交通事故の原因となる場合があります。ボリュームを調整する時は必ず安全な場所に停車してから行ってください。

⚠ 注 意

●音量を上げ過ぎると、外部の音が聞こえにくくなり大変危険です。必要以上に音量を上げないでください。また、長時間の連続使用はお止めください。

3 通信について

本機はチャンネル1（HSP）とチャンネル2（A2DP）を同時に接続し、通信状態によりチャンネルを自動で切り替えます。
チャンネル切り換え時やナビ案内など、音声の冒頭部が一瞬途切れる場合があります。Buletoothの特性および相手側機器との相性、通信状態などによる物ですのでご了承ください。

4 再接続について

本機と相手側機器が離れて通信圏外になった時、本機は相手側機器を5分間探します。相手側機器も本製品を探している時に通信圏内まで近付くと自動で再接続します。（時間や条件などは機種ごとに異なります。相手側機器の取扱説明書でご確認ください。）
ただし、相手側機器が接続相手を探す機能が無い場合や時間が経過した場合は、手動にて再接続してください。

手動で再接続する手順

相手側機器を、接続先を探す状態にする（機種によって異なります。取扱説明書をご覧ください。）
上記操作のみで接続する機種は、本機の操作は不要です。
本機の電源が入っている状態で電源ボタンを一回押すとスピーカー

8.使用方法

より確認音が鳴り、相手側機器を探し始めます。
相手側機器を発見して接続が完了したら本機のスピーカーから確認音が鳴り、インジケーターランプは赤点滅から青点滅に変わります。
（相手側機器の仕様により、相手側機器の表示や確認音は異なります。取扱説明書にてご確認ください。）
上記で再接続ができなければ相手側機器、本機共に一度電源を切り、電源を入れ直してください。
一部機器は再接続ができない物があります。その場合はご使用の度にペアリングを行う必要があります。

5 電源を切る

①電源スイッチを約2秒長押ししてください。インジゲーターランプの赤と青が同時に点灯したらボタンを離してください。
②スピーカーから確認メロディーが流れます。その後、インジゲーターランプが消灯して電源が切れます。

9.故障かな？と思ったら

対 策	原 因	対 策	ページ
電源が入らない	○電源ボタンを正しく押していますか?	●電源ボタンを正しく押す	17
	○電池が消耗していませんか?	●電池を交換してください。	11～12
ペアリングができない	○プロファイル、PINコードが異なる機器ではありませんか?	●プロファイル、PINコードの合っている機器をご用意ください。	8～10
	○ペアリングモードになっていますか?	●ボタン操作を確認してください。	11～14
	○稼動している他のBluetooth機器がありませんか?	●他のBluetooth機器の電源をお切りください。	11～14
	○本機と相手側機器が離れていませんか?	●本機と相手側機器を近付けてください。	11～14
電源が切れる	○電池キャップがきちんと閉まって無く、電池が接触不良を起こしていませんか?	●電池キャップを正しく閉めてください。	11
	○相手側機器の電源が入っていない、または切れていませんか?	●相手側機器の電源を入れてください。	−
	○電池が消耗していませんか?	●電池を交換してください。	11
スピーカーから音が出ない、または音が小さい	○相手側機器の電源が入っていない、または切れていませんか?	●相手側機器の電源を入れてください。	−
	○相手側機器のボリュームが小さくなっていませんか?	●相手側機器のボリュームを大きくしてください。	−

9.故障かな？と思ったら

対策	原因	対策	ページ
スピーカーから音が出ない、または音が小さい（前ページから続き）	○本機のボリュームが小さくなっていませんか?	●本機のボリュームを大きくしてください。	17
	○スピーカーコードのコネクターが外れていませんか?	●コネクターを接続してください。	15
	○スピーカーの表裏が反対になっていませんか?	●スピーカーを正しい向きで取り付けてください。	15
	○スピーカーコードが断線していませんか?	●修理、または部品交換が必要です。	22
	○スピーカーの中心と耳の穴が離れていませんか?	●スピーカーの位置を調整してください。	15
使用可能時間が短い	○使用している電池が劣化していませんか?	●新品の電池と交換してください。	11
	○単三アルカリ電池以外の電池（マンガン、充電式など）を使用していませんか?	●単三アルカリ電池を使用してください。	11
	○使用状況によるもの（ボリューム調整具合、電波状況の悪い所での使用など）	●ボリューム調整を変えてみる、使用場所を変えてみる	17～18
チャンネルの切り換え時に接続が途切れる	○相手側機器の仕様による	●電源ボタンを1回押し再接続してください	18
フリーズした		●一度乾電池を抜き、再び入れ直してみてください。	11

10.補修パーツのご紹介

部品番号	名称	価格（税込み）	数量
MR-E6	フィッティングスペーサー	￥525	3枚セット
MP-202	スピーカー用スポンジ	￥157	1枚
MP-204	スピーカー用ベルクロ（オスメス一組）	￥210	1個
MP-237	ヘルメットスペーサー	￥735	1個
MP-238	デュアルロック	￥210	1枚
MP-239	スピーカー	￥1,890	1個

11.製品仕様

■本体サイズ――――24×100×28㎜（コード除く）
■スピーカーサイズ――――直径約27㎜、厚み約10㎜
■スピーカー数――――1個（モノラル）
■電源――――アルカリ単三乾電池一本（1.5V）
■消費電流――――最大約180mA
■連続待ち受け時間――――約100時間（使用状況により異なる）
■連続作動時間――――約10～12時間（使用状況により異なる）
■作動温度範囲――――-10 ～ +60℃
■規格――――Var.2.1+EDR
■使用周波数帯――――2.4GHz帯
■出力――――Class2
■対応プロファイル――――HSP／A2DP
■PINコード――――［0000］（ゼロが4つ）

12.本品に関するご連絡・ご相談先

TANAX タナックス株式会社
TEL:04-7150-2450（月～金　9:00～18:00）
〒270-0151　千葉県流山市後平井 107-3
http://www.tanax.co.jp